

第5学年「算数」学習指導案

授業者 富田 京子

2月14日（金） 4階A室 10:00～10:40 （話し合い11:00～11:45）

1 単元名 面積について考えよう

2 単元について

子どもたちは、11月から週1時間をこの学習にあて、自分の計画に沿って学習を進めてきた。4年生までの学習で、面積とは何かを考えながらどのように数値化していくかを意識して取り組んできた。その経験を基に、本単元では色々な平面図形の面積について考えることにした。子どもたちには、面積の求め方について考えていくことを個別の学習として提示した。10時間の計画であったが、実際に行ってみると計画通りには進まず、個別の学習が14時間になった。個人の進み方には違いがあるものの、最初の図形についてじっくり考え、底辺と高さの関係に着目すると汎用性が広がることを実感していた。

また、実際に自分で数値を決めて作図をした図形を使うことで、実際にかいてみると、辺の長さと高さが同じ数値になってしまうこともあった。そこから、頭の中で考えていることと実際とのズレから改めて考える姿も見られた。

本単元のような算数の学習を通して、自分・自分達で学習を創ることは、算数部が考えている「自分事の算数」により迫れるのではないかと考え、本時は学級として確認したいことや考えたいことを出し合いながらともに考える時間をとることにした。どのような話題が出るかは、前時に話し合っておく。話題としては今、個別の学習の中で子どもたちがつぶやいているもの、「なんで、底辺×高さではなく、たて×横だったのか。」「どうして面積を求めるのか。」「どの図形から取り組むのが良かったか。」などが出てくるのではないだろうか。そこでの、学習からより抽象化していく概念が育っていくことを期待している。

しかし、具体とのかかわりを重視してきことで、抽象化していく概念、念頭操作や式の変形による一般化などについての押さえが甘くなっているのではないかと考え、本時は学級として確認したいことや考えたいことを出し合いながらともに考える時間をとることにした。どのような話題が出るかは、前時に話し合っておく。話題としては今、個別の学習の中で子どもたちがつぶやいているもの、「なんで、底辺×高さではなく、たて×横だったのか。」「どうして面積を求めるのか。」「どの図形から取り組むのが良かったか。」などが出てくるのではないだろうか。そこでの、学習からより抽象化していく概念が育っていくことを期待している。

3 学習指導計画（17時間目／全18時間）

- | | |
|-----------------|----------|
| 第1次 学習の見通しと計画 | …1時間 |
| 第2次 計画に沿った個別の学習 | …14時間 |
| 第3次 面積について考えよう | …本時2／3時間 |

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

- ・みんなで立てた話題について自分なりの考えを持つ。
- ・友だちの考えを聞きながら自分の考えと比べたり、イメージしたりしようとする。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. 今日の課題について確認する	・前時に話し合ったことを確認 ・子どもたちの話を聞きながら必要なことを板書していく（子どもの思考を可視化する） ・再度、自分の学習の履歴と合わせて考える
2. 自分の考えをかく	
3. みんなで話し合う	
4. 再度自分の考えをまとめる	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・「自分事の算数」に向かいその中でコミュニケーションを取りながら学びを深める学習形態の一つになりうる可能性はあるか。